



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

Ochanomizu University



大学概要2012
UNIVERSITY OVERVIEW 2012



お茶の水女子大学は、1875年(明治8年)に御茶の水(現東京都文京区湯島)の地に、我が国最初の女性のための高等教育機関として東京女子師範学校が創立されたことに始まります。これまでに、東京女子大学学長となる安井てつ、日本初の女性理学博士の保井コノ、国際的に活躍をした女性科学者の湯浅年子など、社会の発展を担う数多くの優れた女性を育ててきました。

21世紀の社会に必要とされる高度な教養と専門性を備えた女性リーダーの育成をミッションとする本学は、女性のライフスタイルに即応した教育研究のあり方を開発しその成果を社会に還元することで、女性の生涯にわたる生き方だけでなく、すべての人の生き方に関わるモデルの供給源となることを目指します。そして、男女共同参画社会の実現や、豊かで自由かつ公正な社会の実現に寄与するため、たゆみない発展と進歩を遂げていきます。

目次

| | |
|-------------------------|----|
| 大学憲章 | 1 |
| 役職員 | 2 |
| 運営組織図 | 3 |
| 学部・大学院／学生定員・現員 | 4 |
| 卒業・修了者数／学位授与状況／就職状況 | 6 |
| 奨学生／本学独自の奨学金 | 7 |
| 交流関係 | 8 |
| 外国人留学生数 | 9 |
| 教職員数／過去5年間における女性教職員数の割合 | 10 |
| 予算・決算 | 12 |
| 外部資金／科研費 | 13 |
| 土地建物 | 14 |
| キャンパスマップ | 15 |
| 附属図書館／附属学校 | 16 |
| 大学沿革(抜粋) | 17 |

大学憲章

●第一章 本学の校歌

みがかずば 玉もかがみも なにかせん
学びの道も かくこそありけれ

これは本学の校歌である。

人はみな、磨かれざる原石として生まれ出る。そして、自らの中に宝を見いだし、輝きを増すためには、周囲の人々から愛情深く磨かれ、育てられることが必要である。温かく育まれたものは強く、優しい。本学に関わる人々はそのことを体現している。

学びの道を志す人には、何処に在ろうとも、自らの信ずるものを自らの努力によって怠りなく磨き続けることが求められるのである。

●第二章 本学の中長期的活動指針

【教育文化】

お茶の水女子大学は、一人ひとりを大切にす豊かな教育文化を維持し続ける。

本学では高度な専門教育と並んでリベラル・アーツ教育を重視する。

お茶の水女子大学のリベラル・アーツ教育は、人文科学・自然科学・社会科学の素養やセンスを広く備えた知性を育むことを目指している。

同時に、高度な専門教育における長年の蓄積を生かし、それを発展させ、一人ひとりに豊かな学びの可能性を拓いてゆく。

そのために、問題関心の広げ方、専門の深め方、固有のテーマの発見の仕方についても、自由度の高い学びを実現する。

【研究文化】

お茶の水女子大学は、未来を拓く基礎研究を重視する。

大学は、文化を創造し、自然の原理を探求する場である。本学はその実践に際し、基礎研究を力として、社会が本学に求める独自の研究の開拓・実践に努める。

それを踏まえて、日本の文化と科学の発展に資する研究や、生活の質の向上を促す研究、さらには、次代を見据えた先端的創造的研究に果敢に挑戦し続ける。

【国際交流】

お茶の水女子大学は、海外との研究・教育上の人的交流・文化的交流を意欲的に進め、広く活動を展開し、国際社会において固有の存在感を発揮する。

本学は、開学以来、アジアの女子教育の拠点としての役割を果たしてきた。そして、研究者や学生の交流、大学間協定など様々な形で国際交流を展開し、国境を越えた研究と教育の実績を積み重ねてきている。この蓄積に基づいて自らもまた新しい文化を創造し、これを世界に向けて発信する。

【社会との交流】

お茶の水女子大学は、社会との間で望ましい知の循環を実現することによって、社会的使命を果たしていく。

本学は、社会的存在としての大学のあり方を自覚しつつ、高い倫理観と専門能力を備えた女性人材を育成し、国内外を問わず、それらの人材が活躍できる場を開拓していく。

また、教育と研究の成果を社会に還元することに喜びと誇りを持ち、広く社会に貢献する。その際に、社会の変化に敏感でありつつも、一貫して真理を探究する姿勢を示し、それを実践することで、大学としての使命を果たしていく。

【附属学校園】

附属学校園は、みがかずば、掲げて、互いに磨きあい、学びあう。

附属学校園で学びあう者は、自主・自律の精神をもって、互いに磨きあい、ともに成長することを目指す。それは、一人ひとりを尊重し、互いに思いやって支えあうことを通して、それぞれの時期や立場で、学校園での生活を充実させることを意味する。

【本学およびすべての附属学校園の卒業生、教職員、OG/OBとのつながり】

本学で、そして学校園で遊び、学び、働いた日々を共有したものは、互いに強い絆で結ばれている。

この門を出て、日本中に世界中に活躍する人々は夥しい数にのぼる。またそれらの人々は、学びの場、家庭や地域社会、職業の場などで、それぞれ真摯に努力を重ね、研鑽を積んできた。

そうした一つ一つの歴史の蓄積が、本学に対する類まれな信頼を築きあげ、社会を先導する役割も多く担うことにつながった。そのことは、本学に関わる人々にとって大きな誇りでもあり、また、未来を担う人々の励みにもなる。

過ごした時の長短を問わず、本学に関わったすべての人々は、未来においてもみがかずば、に受け継がれてきた心を守り続けるであろう。

●第三章 本学の近未来像

本学が描く理想の大学像は、無数の異なる生と知性が自由に出会い、学問という最高の智と最高の清閑^{あそび}の場となることである。そこでは、無数の異なる価値観が交差し、互いに磨きあうことで活性化する知的創造の機会が提供される。そのことによって、一人ひとりが自由闊達に学問と芸術を愉しみ、制度や役割にとらわられることなく判断能力を鍛え、真の意味での豊かな文化を継承していくことが期待できる。

この理想を実現し、日本のみならず広く国際社会において、歓ばしい生と豊かな文化があまねくもたらされるように努めること、それがこれまでの実績を礎に果たすべき本学の歴史的使命である。

役職員

(平成24年5月1日現在)

役員会

| | |
|------------------|--------|
| 学長 | 羽入 佐和子 |
| 理事・副学長(総務機構長) | 市古 夏生 |
| 理事・副学長(教育機構長) | 耳塚 寛明 |
| 理事・副学長(国際・研究機構長) | 河村 哲也 |
| 理事 | 江澤 雄一 |

監事

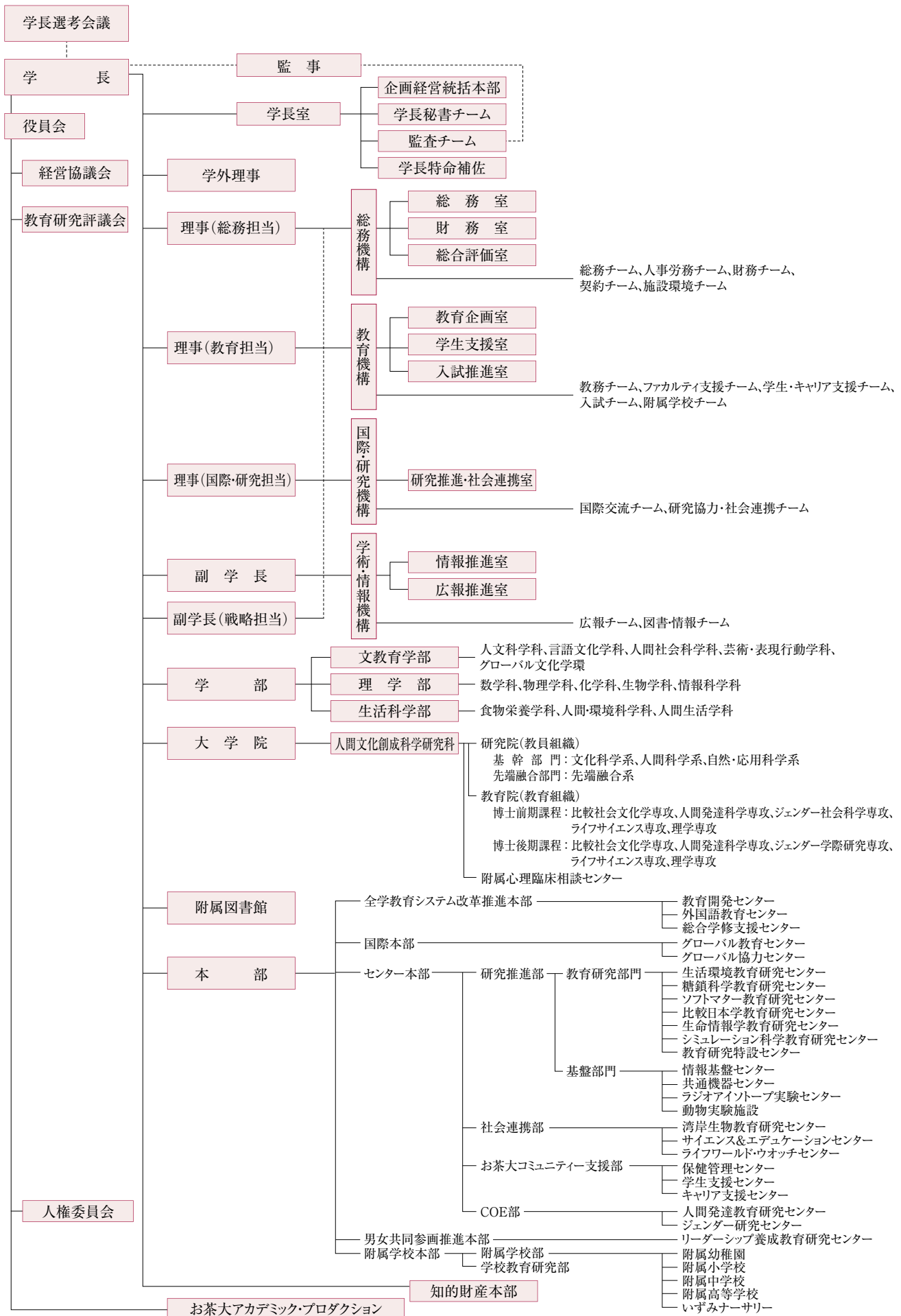
| | |
|----|-------|
| 監事 | 斎藤 修 |
| 監事 | 吉武 博通 |

経営協議会

| | |
|----------------------------|--------|
| 学長 | 羽入 佐和子 |
| 理事・副学長(総務機構長) | 市古 夏生 |
| 理事・副学長(教育機構長) | 耳塚 寛明 |
| 理事・副学長(国際・研究機構長) | 河村 哲也 |
| 理事 | 江澤 雄一 |
| 副学長(学術・情報機構長)・附属図書館長 | 鷹野 景子 |
| 副学長(戦略担当) | 三浦 春政 |
| 凸版印刷株式会社代表取締役会長 | 足立 直樹 |
| 株式会社資生堂相談役 | 池田 守男 |
| 学校法人東洋英和女学院理事長・院長 | 檜田 松瑩 |
| 三井物産株式会社取締役会長 | 小倉 和夫 |
| 独立行政法人国際交流基金顧問 | 小野 元之 |
| 学校法人城西大学理事・大学院センター所長 | 北村 節子 |
| 独立行政法人日本学術振興会顧問 | 國井 秀子 |
| 法務省中央更生保護審査会委員 | |
| リコーITソリューションズ株式会社取締役会長執行役員 | |
| 株式会社リコー理事 | |

教育研究評議会

| | |
|-------------------------|---------|
| 学長 | 羽入 佐和子 |
| 理事・副学長(総務機構長) | 市古 夏生 |
| 理事・副学長(教育機構長) | 耳塚 寛明 |
| 理事・副学長(国際・研究機構長) | 河村 哲也 |
| 副学長(学術・情報機構長)・附属図書館長 | 鷹野 景子 |
| 副学長(戦略担当) | 三浦 春政 |
| 文教育学部長 | 三浦 徹 |
| 理学部長 | 最上 善広 |
| 生活科学部長 | 大塚 讓 |
| 大学院人間文化創成科学研究科長 | 石口 彰 |
| 大学院人間文化創成科学研究科文化科学系長 | 宮尾 正樹 |
| 大学院人間文化創成科学研究科人間科学系長 | 藤田 宗和 |
| 大学院人間文化創成科学研究科自然・応用科学系長 | 菅本 晶夫 |
| 大学院人間文化創成科学研究科先端融合系長 | 榊原 洋一 |
| 附属学校部長 | 高崎 みどり |
| 大学院人間文化創成科学研究科 教授 | 香西 みどり |
| 大学院人間文化創成科学研究科 教授 | 新井 由紀夫 |
| 大学院人間文化創成科学研究科 教授 | 小玉 亮子 |
| 大学院人間文化創成科学研究科 教授 | 大瀧 雅寛 |
| 大学院人間文化創成科学研究科 教授 | 石井クヅ 昌子 |
| 大学院人間文化創成科学研究科 教授 | 加藤 美砂子 |
| 大学院人間文化創成科学研究科 教授 | 頼住 光子 |



●学部



■文教育学部

| 学 科 | 講 座 |
|-----------|---|
| 人文科学科 | 形象分析学 哲学 比較歴史学 地理学 |
| 言語文化学科 | 日本語・日本文学 中国語圏言語文化 英語圏・欧州言語文化 応用言語学 日本語教育 |
| 人間社会科学科 | 応用社会学 教育科学 心理学 |
| 芸術・表現行動学科 | 舞踊教育学 音楽表現 |

※上記講座とは別に、進学コースとして「グローバル文化学環」がある。



■理学部

| 学 科 | 講 座 |
|-------|-------------|
| 数学科 | 数理構造 数理解析 |
| 物理学科 | 基礎物理学 物性物理学 |
| 化学科 | 構造化学 反応化学 |
| 生物学科 | 構造生物学 機能生物学 |
| 情報科学科 | 情報数理 情報処理 |



■生活科学部

| 学 科 | 講 座 |
|----------|----------------------|
| 食物栄養学科 | 食物栄養学 |
| 人間・環境科学科 | 人間・環境科学 |
| 人間生活学科 | 発達臨床心理学 生活社会科学 生活文化学 |

●大学院



■人間文化創成科学研究科

| | |
|--------|--|
| 博士前期課程 | 比較社会文化学専攻、人間発達科学専攻、 ジェンダー社会科学専攻、 ライフサイエンス専攻、理学専攻 |
| 博士後期課程 | 比較社会文化学専攻、人間発達科学専攻、 ジェンダー学際研究専攻、 ライフサイエンス専攻、理学専攻 |

●学部

| | | 入学定員 | 現員 | | | | | |
|-------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| | | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 | |
| 文教育学部 | 人文科学科 | 55 | 57 | 60 | 60 | 72 | 249 | |
| | 言語文化学科 | 80 | 86 | 83 | 91 | 111 | 371 | |
| | 人間社会科学科 | 40 | 42 | 43 | 48 | 59 | 192 | |
| | 芸術・表現行動学科 | 27 | 28 | 29 | 27 | 33 | 117 | |
| | 計 | 202(10) | 213 | 215 | 226 | 275 | 929 | |
| 理学部 | 数学科 | 20 | 22 | 18 | 22 | 27 | 89 | |
| | 物理学科 | 20 | 22 | 21 | 23 | 30 | 96 | |
| | 化学科 | 20 | 23 | 21 | 24 | 24 | 92 | |
| | 生物学科 | 25 | 27 | 27 | 25 | 28 | 107 | |
| | 情報科学科 | 40 | 40 | 42 | 39 | 47 | 168 | |
| | 計 | 125(10) | 134 | 129 | 133 | 156 | 552 | |
| 生活科学部 | 食物栄養学科 | 36 | 39 | 39 | 39 | 40 | 157 | |
| | 人間・環境科学科 | 24 | 28 | 26 | 26 | 33 | 113 | |
| | 人間生活学科 | 発達臨床心理学講座 | 65 | 70 | 70 | 30 | 34 | 311 |
| | | 生活社会科学講座 | | | | 29 | 37 | |
| | | 生活文化化学講座 | | | | 18 | 23 | |
| 計 | 125(10) | 137 | 135 | 142 | 167 | 581 | | |
| 合計 | | 452(30) | 484 | 479 | 501 | 598 | 2,062 | |

※入学定員の()は第3年次編入学定員で外数。

●大学院人間文化創成科学研究科

■博士前期課程

| 専攻 | 入学定員 | 現員 | | |
|-------------|------|-----|-----|-----|
| | | 1年次 | 2年次 | 計 |
| 比較社会文化学専攻 | 60 | 51 | 89 | 140 |
| 人間発達科学専攻 | 27 | 34 | 41 | 75 |
| ジェンダー社会科学専攻 | 18 | 15 | 29 | 44 |
| ライフサイエンス専攻 | 47 | 51 | 67 | 118 |
| 理学専攻 | 70 | 70 | 82 | 152 |
| 計 | 222 | 221 | 308 | 529 |

■博士後期課程

| 専攻 | 入学定員 | 現員 | | | |
|-------------|------|-----|-----|-----|-----|
| | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 計 |
| 比較社会文化学専攻 | 27 | 27 | 41 | 98 | 166 |
| 人間発達科学専攻 | 14 | 16 | 18 | 56 | 90 |
| ジェンダー学際研究専攻 | 4 | 5 | 6 | 23 | 34 |
| ライフサイエンス専攻 | 15 | 12 | 18 | 37 | 67 |
| 理学専攻 | 13 | 14 | 18 | 15 | 47 |
| 計 | 73 | 74 | 101 | 229 | 404 |

●大学院人間文化研究科

■博士後期課程

| 専攻 | 入学定員 | 現員 | | | |
|-------------|------|-----|-----|-----|----|
| | | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 計 |
| 比較社会文化学専攻 | — | — | — | 13 | 13 |
| 国際日本学専攻 | — | — | — | 20 | 20 |
| 人間発達科学専攻 | — | — | — | 17 | 17 |
| ジェンダー学際研究専攻 | — | — | — | 8 | 8 |
| 人間環境科学専攻 | — | — | — | 1 | 1 |
| 複合領域科学専攻 | — | — | — | 3 | 3 |
| 計 | — | — | — | 62 | 62 |

■研究生等(科目等履修生以外は留学生を除く)

| | | 研究生 | 科目等履修生 | 聴講生 | 特別聴講学生 | 特別研究学生 | 計 |
|-----|---------------------|-----|--------|-----|--------|--------|-----|
| 学部 | 文教育学部 | 9 | 42 | 5 | 5 | — | 61 |
| | 理学部 | 2 | 8 | 0 | 0 | — | 10 |
| | 生活科学部 | 3 | 51 | 4 | 5 | — | 63 |
| | 計 | 14 | 101 | 9 | 10 | — | 134 |
| 大学院 | 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) | 4 | 16 | — | 17 | 0 | 37 |
| | 人間文化創成科学研究科(博士後期課程) | 2 | 2 | — | 0 | 2 | 6 |
| | 計 | 6 | 18 | 0 | 17 | 2 | 43 |
| 合計 | | 20 | 119 | 9 | 27 | 2 | 177 |

卒業・修了者数

学部

(平成23年度)

| | 卒業生数 | 累計 |
|-------|------|--------|
| 文教育学部 | 237 | 11,526 |
| 理学部 | 137 | 5,967 |
| 生活科学部 | 140 | 2,487 |
| 家政学部 | — | 4,349 |
| 計 | 514 | 24,329 |

大学院

(平成23年度)

| | 修了者数 | 累計 |
|---------------------|------|-------|
| 人文科学研究科 | — | 1,709 |
| 理学研究科 | — | 836 |
| 家政学研究科 | — | 931 |
| 人間文化研究科(博士前期課程) | — | 2,382 |
| 人間文化研究科(博士後期課程) | 15 | 665 |
| 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) | 229 | 958 |
| 人間文化創成科学研究科(博士後期課程) | 29 | 64 |
| 計 | 273 | 7,545 |

学位授与状況

(平成24年5月1日現在)

| | 課程 | 論文 |
|----------|-----|----------|
| 学術博士 | 23 | 22 (2) |
| 博士(学術) | 118 | 65 (7) |
| 博士(人文科学) | 234 | 137 (3) |
| 博士(理学) | 276 | 63 (6) |
| 博士(社会科学) | 52 | 26 |
| 博士(生活科学) | 26 | 3 |
| 計 | 729 | 316 (18) |

()の数字は男子に授与した学位を内数で示す。

就職状況

(平成23年度)

| | | 卒業・修了者数 | 一般企業等 | 官公庁 | 教員 | 進学 | その他 |
|-----|--------|---------|-------|-----|----|-----|-----|
| 学部 | 文教育学部 | 237 | 124 | 31 | 9 | 47 | 26 |
| | 理学部 | 137 | 42 | 0 | 4 | 84 | 7 |
| | 生活科学部 | 140 | 65 | 12 | 7 | 46 | 10 |
| | 計 | 514 | 231 | 43 | 20 | 177 | 43 |
| 大学院 | 博士前期課程 | 229 | 123 | 14 | 17 | 45 | 30 |
| | 博士後期課程 | 44 | 6 | 0 | 16 | 0 | 22 |
| | 計 | 273 | 129 | 14 | 33 | 45 | 52 |
| 合計 | | 787 | 360 | 57 | 53 | 222 | 95 |



奨学生

(平成23年10月1日現在)

| 区分 | 在学生数 | 日本政府奨学金* | 私費留学生学習奨励費* | 日本学生支援機構 | | | | 本学独自 | その他 | 奨学生数合計 | 比率(%) | |
|-----|--------|----------|-------------|----------|-----|--------|-----|------|-----|--------|-------|------|
| | | | | 一種 | 二種 | 一種二種併用 | 小計 | | | | | |
| 学部 | 文教育学部 | 948 | 0 | 3 | 110 | 144 | 23 | 277 | 24 | 28 | 332 | 35.0 |
| | 理学部 | 557 | 0 | 2 | 69 | 55 | 11 | 135 | 19 | 14 | 170 | 30.5 |
| | 生活科学部 | 577 | 0 | 1 | 76 | 73 | 13 | 162 | 12 | 9 | 184 | 31.9 |
| | 計 | 2,082 | 0 | 6 | 255 | 272 | 47 | 574 | 55 | 51 | 686 | 32.9 |
| 大学院 | 博士前期課程 | 540 | 7 | 2 | 141 | 32 | 10 | 183 | 10 | 6 | 208 | 38.5 |
| | 博士後期課程 | 486 | 17 | 10 | 69 | 0 | 3 | 72 | 18 | 3 | 120 | 24.7 |
| | 計 | 1,026 | 24 | 12 | 210 | 32 | 13 | 255 | 28 | 9 | 328 | 32.0 |
| 合計 | 3,108 | 24 | 18 | 465 | 304 | 60 | 829 | 83 | 60 | 1,014 | 32.6 | |

※外国人留学生対象

本学独自の奨学金

(平成24年度)

| 基金の名称 | 授与対象者 | 奨学金の額 | 人数 | | |
|---------|---------------------------|---|---|----------------|----------|
| 学部生 | みがかずば奨学金(予約型奨学金) | ①日本の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者 ②当該年度の4月に本学学部1年生に入学する予定で、本学に強く入学を志望する者 ③成績、人物とも優秀で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者 (①~③のすべてを満たす者) | 1年目 300,000円 2年目 300,000円 | (H23) 19名 | |
| | 学部生成績優秀者奨学金 | 学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生(中途に休学期間がない者に限る。)のうち、1・2年次の成績、人物が特に優秀と認められた者 | 200,000円 | (H23) 25名 | |
| | 桜蔭会奨学金 | 各学部より推薦された学部3年生 | 100,000円 | (H23) 4名 | |
| 大学院生 | 大学院生修学奨学金 | 本学大学院に在籍し、経済的理由により修学が困難であり、学業成績優秀かつ将来が嘱望される者のうち、寄附者が指定する課程等に在籍する者又は大学院修了後に教員等の職を強い志を持って目指す者 | 1,000,000円 | (H23) 4名 | |
| | 桜蔭会研究奨励賞(予約型奨学金) | 本学学部を卒業し、引き続き本学大学院博士前期課程に進学する者(学内進学者)で、学業、人物ともに優れた者 | 200,000円 | (一部制度変更予定) 20名 | |
| | 大学院博士後期課程研究奨励賞(予約型奨学金) | 本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者(学内進学者)で、学業、人物ともに優れた者 | 600,000円 | (新設予定) 10名 | |
| | お茶の水女子大学120周年記念桜蔭会国際交流奨励賞 | 海外留学支援事業 | 本学大学院博士後期課程修了者又は在学生で、成績優秀かつ将来が嘱望される者のうち海外研修を希望する者 | 2,000,000円を限度 | (H23) 1名 |
| | | アジア女性研究者支援事業 | 本学学生として留学後、アジアの各地域において研究者又は各界の指導者として活躍し来日研修を希望する者 | | (H23) 2名 |
| 育児支援奨学金 | 本学の正規学生で本学が設置する保育所を利用する者 | 原則、保育料の半額 | (H23) 11名 | | |
| 学科・専攻等 | 大学院研究科奨学基金 | 本学大学院博士後期課程において研究に従事し、その成績顕著な者 | 100,000円 | (H23) 2名 | |
| | 保井・黒田奨学基金 | 自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者 | 30,000円 | (H23) 2名 | |
| | 被服学奨学基金 | 被服学関係の研究に従事し、その成績顕著な者 | 100,000円 | (H23) 1名 | |
| | 食物学奨学基金 | 食物学関係の研究に従事し、その成績顕著な者 | 100,000円 | (H23) 1名 | |
| | 家庭経営学奨学基金 | 家庭経営学関係の研究に従事し、その成績顕著な者 | 100,000円 | (H23) 2名 | |
| | 池田摩耶子記念奨学基金 | 1. 本学大学院において国際的な研究に従事し、成績顕著な者 2. 学部、大学院に私費で在学する外国人留学生で成績顕著な者 | 100,000円 | (H23) 2名 | |
| | 池田重記念奨学基金 | | 100,000円 | (H23) 1名 | |
| | 湯浅年子記念特別研究員奨学基金 | 本学出身者、在学する者又は附属高等学校出身者で、自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者 | 250,000円 | (H23) 1名 | |
| | 数学奨学基金 | 本学出身者又は本学大学院博士前期課程及び学部在学する者で、数学の成績顕著な者 | 100,000円 | (H23) 3名 | |
| | 生物学優秀学生賞奨学基金 | 本学学部及び大学院博士前期課程に在学する者で、生物学の成績顕著な者 | 20,000円 | (H23) 1名 | |
| | グローバル文化学環奨学基金 | 本学文教育学部グローバル文化学環に卒業研究を提出した者で、研究の評価が顕著な者 | 10,000円 | (H23) 1名 | |
| | 化学科(宮島直美)奨学基金 | 本学理学部化学科に在学する者で、成績顕著な者 | 200,000円 | (H23) 1名 | |
| | 生物学科(小沼英子)奨学基金 | 本学理学部生物学科に在学する者で、成績及び人物が優秀であり、本基金による支援が必要な者 | 500,000円を限度 | (新設) 1名 | |

※人数欄は、授与対象者数または平成23年度授与実績。

交流関係

●国際交流協定：23カ国・地域49大学 (地域別・五十音順) (平成24年5月1日現在)

| 協定大学 | 国・地域名 | 締結年月日 |
|----------------------|----------|--------------|
| アジア(18校) | | |
| 韓国芸術総合学校舞踊院 | 韓国 | 2011. 1. 17 |
| 慶北大学校 | 韓国 | 2011. 6. 22 |
| 淑明女子大学校 | 韓国 | 2000. 2. 14 |
| 同徳女子大学校 | 韓国 | 2005. 3. 30 |
| 釜山大学校 | 韓国 | 2012. 3. 21 |
| 梨花女子大学校 | 韓国 | 2000. 2. 28 |
| アジア工科大学院大学 | タイ | 2004. 12. 29 |
| タマサート大学 | タイ | 2007. 6. 13 |
| チェンマイ大学 | タイ | 2010. 5. 27 |
| プリンス・オブ・ソンクララー大学 | タイ | 2009. 8. 14 |
| 国立政治大学 | 台湾 | 2001. 7. 25 |
| 国立台北芸術大学 | 台湾 | 2002. 1. 29 |
| 国立台湾大学 | 台湾 | 1999. 12. 17 |
| 大連外国語学院 | 中国 | 2006. 10. 2 |
| 北京外国語大学 | 中国 | 2005. 10. 17 |
| 北京大学歴史学系 | 中国 | 2002. 1. 26 |
| 復旦大学歴史学系 | 中国 | 2010. 10. 12 |
| 国立ハノイ教育大学 | ベトナム | 2008. 3. 3 |
| 中東(1校) | | |
| アンカラ大学 | トルコ | 2007. 8. 8 |
| アフリカ(2校) | | |
| カイロ大学 | エジプト | 2007. 3. 15 |
| マンソウラ大学 | エジプト | 2003. 3. 30 |
| 北米(4校) | | |
| ヴァッサー大学 | アメリカ | 2006. 6. 1 |
| カリフォルニア大学デービス校 | アメリカ | 2010. 9. 30 |
| パーデュー大学 | アメリカ | 2004. 1. 26 |
| マウントアリソン大学 | カナダ | 2006. 8. 9 |
| オセアニア(3校) | | |
| ニューサウスウェルズ大学 | オーストラリア | 2011. 9. 30 |
| モナシュ大学 | オーストラリア | 1994. 12. 14 |
| オタゴ大学 | ニュージーランド | 2003. 12. 19 |
| ヨーロッパ(21校) | | |
| オックスフォード大学クイーンズコレッジ | イギリス | 1994. 1. 18 |
| ケンブリッジ大学ガートンコレッジ | イギリス | 1994. 7. 20 |
| マンチェスター大学 | イギリス | 2009. 9. 15 |
| ロンドン大学 東洋・アフリカ研究学院 | イギリス | 1999. 8. 5 |
| 国立ナポリ大学オリエンターレ | イタリア | 2011. 1. 11 |
| ウィーン工科大学 | オーストリア | 2002. 12. 5 |
| リンショーピン大学 | スウェーデン | 2012. 1. 12 |
| スロバキア工科大学 | スロバキア | 2003. 3. 4 |
| カレル大学 | チェコ | 2004. 9. 7 |
| ケルン大学 | ドイツ | 2010. 3. 18 |
| ブレーメン応用科学大学 | ドイツ | 2011. 1. 21 |
| パーギシェ・ブツパタル大学 | ドイツ | 2002. 2. 24 |
| オウステロボテナ先端科学大学 | フィンランド | 2009. 12. 1 |
| タンペレ大学 | フィンランド | 2003. 2. 13 |
| ストラスブール大学 | フランス | 2002. 7. 5 |
| パリ・デイドロ(パリ第7)大学 | フランス | 2008. 2. 1 |
| ブレーズ・パスカル(クレルモン第2)大学 | フランス | 2009. 8. 28 |
| ボルドー第一大学 | フランス | 2010. 3. 1 |
| ワルシャワ大学 | ポーランド | 2010. 2. 10 |
| ブカレスト大学 | ルーマニア | 2009. 8. 3 |
| トムスク国立教育大学 | ロシア | 2002. 7. 3 |

●地域別大学数 (平成24年5月1日現在)

| 地域 | 締結大学数 |
|-----------|-----------|
| アジア | 18 |
| 中東 | 1 |
| アフリカ | 2 |
| 北米 | 4 |
| オセアニア | 3 |
| ヨーロッパ | 21 |
| 合計 | 49 |

●国内交流協定(16大学) (平成24年5月1日現在)

| 締結大学 | 締結年月日 |
|-----------|-------------|
| 奈良女子大学 | 1994. 3. 25 |
| 東京工業大学 | 1994. 4. 8 |
| 東京大学 | 1995. 3. 30 |
| 総合研究大学院大学 | 1995. 4. 3 |
| 日本女子大学 | 1999. 4. 1 |
| 名古屋市立大学 | 1999. 4. 1 |
| 東京芸術大学 | 2000. 4. 1 |
| 中央大学 | 2000. 4. 1 |
| 共立女子大学 | 2002. 4. 1 |
| 東京女子医科大学 | 2003. 10. 3 |
| 東京外国語大学 | 2005. 2. 4 |
| 首都大学東京 | 2006. 3. 30 |
| 東京医科歯科大学 | 2008. 9. 5 |
| 学習院大学 | 2010. 4. 1 |
| 北里大学 | 2010. 4. 1 |
| 東京海洋大学 | 2011. 4. 26 |

外国人留学生数

(平成24年5月1日現在)

| 種別 | 学部生 | | | | 大学院生 | | | 学部研究生 | | | | 大学院研究生 | | | 日本語・日本文化研修留学生 | 交換留学生(学部) | 交換留学生(大学院) | 計 | |
|-------|----------|-----|-------|----|--------|--------|----|-------|-----|-------|----|--------|--------|----|---------------|-----------|------------|----|-----|
| | 文教育学部 | 理学部 | 生活科学部 | 小計 | 博士前期課程 | 博士後期課程 | 小計 | 文教育学部 | 理学部 | 生活科学部 | 小計 | 博士前期課程 | 博士後期課程 | 小計 | | | | | |
| 地域・国 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アジア | インドネシア | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 韓国 | 4 | | 2 | 6 | 4 | 25 | 29 | 2 | | | 2 | | | | 1 | 3 | 41 | |
| | | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | 1 | | 3 | |
| | タイ | | | | | 1 | 3 | 4 | | | | | 1 | | 1 | 1 | 3 | 9 | |
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | | | | | 1 | | 1 | | | 5 | |
| | 台湾 | | | 1 | 1 | 2 | 5 | 7 | | | | | | | | | 2 | 10 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中国 | 8 | 1 | 2 | 11 | 51 | 37 | 88 | 22 | | 3 | 25 | | | | | | 2 | 126 |
| | | | | | | 7 | 7 | | | | | | | | | | | 7 | |
| ベトナム | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | 2 | |
| | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | 2 | |
| マレーシア | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 2 | |
| | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 大洋州 | ニュージーランド | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | |
| 中東 | アフガニスタン | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | |
| アフリカ | エジプト | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | |
| ヨーロッパ | イギリス | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | 3 | |
| | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | 2 | |
| | イタリア | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 3 | |
| | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | |
| | ドイツ | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ウクライナ | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| | クロアチア | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 1 | |
| フランス | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ポーランド | | | | | 1 | | 1 | | | | | 2 | | 2 | | | | 3 | |
| | | | | | | | | | | | | 2 | | 2 | | | | 2 | |
| ルーマニア | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| ロシア | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | |
| | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | |
| 南米 | コロンビア | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | 12 | 2 | 5 | 19 | 63 | 76 | 139 | 24 | 0 | 3 | 27 | 5 | 0 | 5 | 5 | 13 | 4 | 212 |
| | | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 14 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 | 30 |

(注1) 外国籍の科日等履修生は含まない。

(注2) 下段は国費留学生(内数)

教職員数

| 区 分 | 教授 | | 准教授 | | 講師 | | 助教 | | 助手 | | リサーチフェロー | | アソシエイトフェロー | |
|--------------------|-----|------|-----|------|----|------|----|------|----|------|----------|------|------------|------|
| | | うち女性 | | うち女性 | | うち女性 | | うち女性 | | うち女性 | | うち女性 | | うち女性 |
| 副学長(戦略担当) | | | | | | | | | | | | | | |
| 学長室、事務組織 | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育機構 | 1 | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 学術・情報機構 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 文教育学部 | | | | | | | | | | | | | | |
| 理学部 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | |
| 生活科学部 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 大学院人間文化創成科学研究科 | 105 | 38 | 65 | 29 | 6 | 6 | 10 | 6 | | | 12 | 12 | | |
| 教育開発センター | | | | | 3 | 3 | | | | | | | 1 | 1 |
| 外国語教育センター | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 総合学修支援センター | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| グローバル教育センター | | | | | 2 | 2 | | | | | | | 1 | 1 |
| グローバル協力センター | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 生活環境教育研究センター | | | 1 | 1 | | | 3 | 3 | | | | | | |
| 糖鎖科学教育研究センター | | | | | | | | | | | | | | |
| ソフトマター教育研究センター | | | | | | | | | | | | | | |
| 比較日本学教育研究センター | | | | | | | | | | | | | | |
| 生命情報学教育研究センター | | | | | | | | | | | | | | |
| シミュレーション科学教育研究センター | | | | | | | 2 | 1 | | | | | 1 | 1 |
| 教育研究特設センター | | | | | | | | | | | | | | |
| 情報基盤センター | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 2 | 1 |
| 共通機器センター | | | | | | | | | | | | | | |
| ラジオアイソトープ実験センター | | | | | | | | | | | | | | |
| 動物実験施設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 湾岸生物教育研究センター | | | | | 1 | 0 | | | | | | | | |
| サイエンス&エデュケーションセンター | | | | | | | | | | | | | | |
| ライフワールド・ウォッチセンター | | | | | | | | | | | | | | |
| 保健管理センター | 1 | 0 | | | | | | | | | | | | |
| 学生支援センター | | | 1 | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| キャリア支援センター | | | 1 | 0 | | | | | | | | | 2 | 2 |
| 人間発達教育研究センター | | | | | 2 | 2 | | | | | | | 1 | 1 |
| ジェンダー研究センター | | | | | | | | | | | | | | |
| リーダーシップ養成教育研究センター | | | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | | | | | | |
| 学校教育研究部 | 1 | 1 | | | 3 | 3 | | | | | | | | |
| 知的財産本部 | | | | | | | | | | | | | | |
| お茶大アカデミック・プロダクション | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | |
| 附属幼稚園 | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属小学校 | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属中学校 | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属高等学校 | | | | | | | | | | | | | | |
| いずみナーサリー | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 108 | 39 | 69 | 32 | 24 | 22 | 19 | 12 | 1 | 1 | 13 | 13 | 10 | 9 |

過去5年間ににおける女性教職員数の割合

| | 大学全体 | | | 教員 ^(※) | | |
|--------|------|-----|-------|-------------------|-----|-------|
| | 全体 | 女性 | 割合 | 全体 | 女性 | 割合 |
| 平成20年度 | 474 | 239 | 50.4% | 250 | 119 | 47.6% |
| 平成21年度 | 479 | 239 | 49.9% | 246 | 117 | 47.6% |
| 平成22年度 | 462 | 223 | 48.3% | 231 | 104 | 45.0% |
| 平成23年度 | 469 | 241 | 51.4% | 231 | 111 | 48.1% |
| 平成24年度 | 460 | 238 | 51.7% | 228 | 108 | 47.4% |

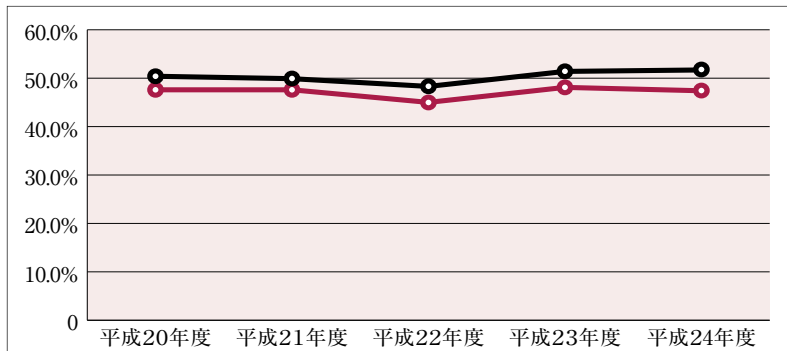
※教授、准教授、講師、助教、特任教授、特任准教授、特任講師、特任助教の数。

(平成24年5月1日現在)

| 特任教授 | 特任准教授 | | 特任講師 | | 特任助教 | | 特任リサーチフェロー | | 特任アソシエイトフェロー | | 附属学校教諭 | | 栄養教諭 | | 保育士 | | その他職員 | | 合計 | | |
|------|-------|------|------|------|------|------|------------|------|--------------|------|--------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-----|
| | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | うち女性 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 1 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 100 | 40 | 100 | 40 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 198 | 91 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 4 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 4 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 4 | 3 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 2 | 0 | |
| | | 1 | 0 | 3 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 4 | 2 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | |
| | | | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 5 | 4 | |
| | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 2 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 4 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | |
| 1 | 0 | 1 | 0 | | | | | 8 | 7 | 1 | 1 | | | | | | | | 14 | 9 | |
| | | | | | | | | | | | | 10 | 10 | | | | | | 10 | 10 | |
| | | | | | | | | | | | | 28 | 13 | 1 | 1 | | | 1 | 0 | 30 | 14 |
| | | | | | | | | | | | | 25 | 13 | | | | | | | 25 | 13 |
| | | | | | | | | | | | | 25 | 15 | | | | | | | 25 | 15 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 4 | | | 4 | 4 |
| 1 | 0 | 2 | 0 | 5 | 3 | 0 | 0 | 8 | 7 | 2 | 2 | 88 | 51 | 1 | 1 | 4 | 4 | 105 | 42 | 460 | 238 |

教職員数／過去5年間ににおける女性教職員数の割合

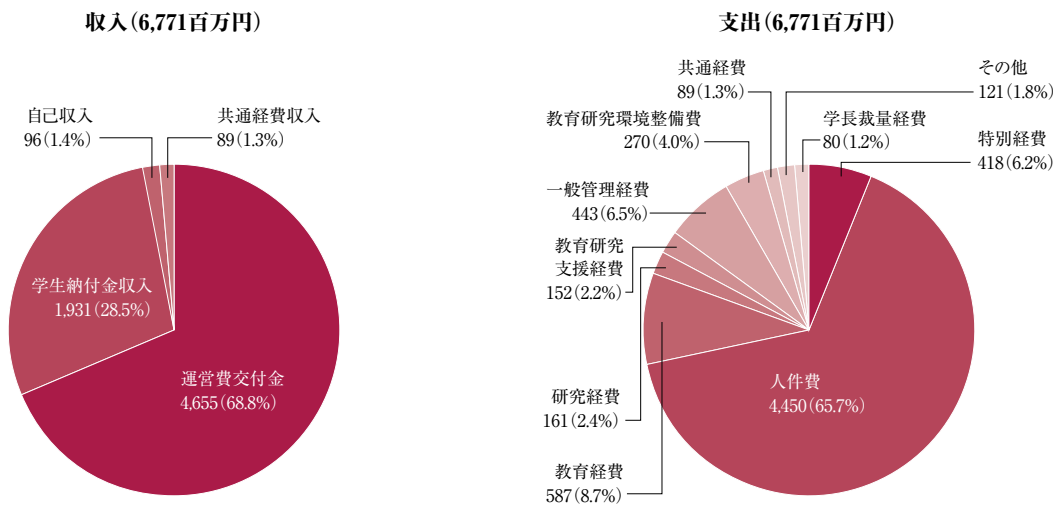
お茶の水女子大学



予算・決算

●平成24年度学内予算

(単位：百万円)



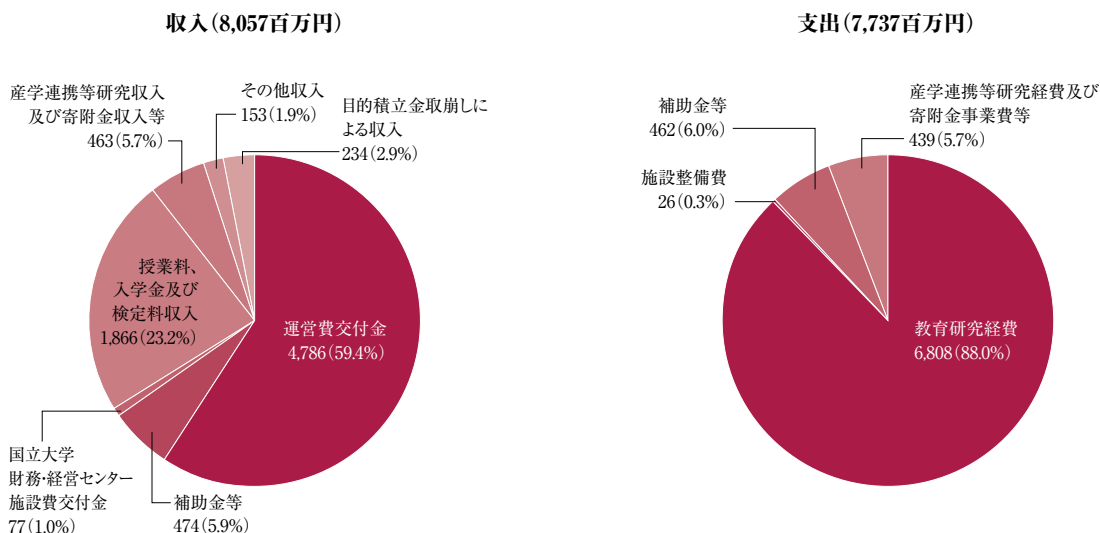
●平成24年度特別経費

(単位：千円)

| 区分 | 事項 | 金額 |
|------------------------|--|---------|
| プロジェクト分 | | |
| 国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実 | 女性リーダーを創出する国際拠点の形成(平成22年度～27年度) | 112,349 |
| 高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実 | 多様な食育の場に対応可能な高度専門家の育成(平成22年度～27年度) | 32,220 |
| | 附属学校園を活用した新たな学校教育制度設計に係る調査研究-高度専門的研究力を持つ教員養成-現職研修システムの構築と幼小接続期の新学校制度開発-(平成22年度～27年度) | 61,781 |
| | 教員養成機能の充実(平成24年度) | 15,400 |
| 幅広い職業人の養成や教養教育機能の充実 | 統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証(平成22年度～25年度) | 54,053 |
| | 学生主体の新しい学士課程の創成-21世紀型リベラルアーツと複数プログラム選択型専門教育-(平成22年度～25年度) | 90,258 |
| | 乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築(平成22年度～27年度) | 17,100 |
| 大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実 | 生活者の視点からのシミュレーション科学研究の拠点形成(平成23年度～26年度) | 20,588 |
| 教育関係共同実施分 | | |
| 教育関係共同利用拠点 | 海産生物のポテンシャルを最大限に活用した海洋教育の展開(平成24年度～27年度) | 14,063 |
| 合計 | | 417,812 |

●平成22年度決算

(単位：百万円)



外部資金

●平成23年度外部資金受入状況

(単位：円)

| 項目 | 交付件数 | 総額 |
|--------------------------------|------|-------------|
| グローバルCOEプログラム | 1 | 115,400,000 |
| 科学技術人材育成費補助金 | 3 | 270,347,658 |
| 科学技術試験研究委託事業 | 1 | 27,300,000 |
| その他補助金 | 2 | 10,926,817 |
| 最先端学術情報基盤構築事業 | 1 | 5,630,000 |
| 戦略的創造研究推進事業 | 4 | 39,260,000 |
| 受託研究 | 32 | 86,842,127 |
| 共同研究 | 30 | 26,573,050 |
| 奨学寄附金 | 50 | 50,298,809 |
| 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム | 1 | 12,600,000 |
| 大学生の就業力育成支援事業 | 1 | 17,674,000 |
| 若手研究者国際・トレーニング・プログラム | 1 | 15,831,326 |
| 組織的な若手研究者等海外派遣プログラム | 1 | 12,685,194 |
| 頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム | 1 | 16,400,000 |
| 理数学生応援プロジェクト | 1 | 15,963,813 |
| 理数系教員養成拠点構築事業 | 1 | 24,879,990 |
| 大学教育・学生支援推進事業〔テーマA〕大学教育推進プログラム | 1 | 16,000,000 |
| 戦略的大学連携支援事業 | 1 | 12,942,000 |
| 大学発教育支援コンソーシアム事業 | 1 | 3,000,000 |
| 復興教育支援事業 | 1 | 1,515,000 |
| 計 | 135 | 782,069,784 |

科研費

●平成23年度採択状況

(単位：円)

| 研究種目 | 件数 | 金額 |
|-------------------|-----|-------------|
| 新学術領域研究 研究領域提案型 | 5 | 14,560,000 |
| 若手研究(A) | 1 | 1,560,000 |
| 若手研究(B) | 31 | 35,360,000 |
| 基盤研究(A) | 4 | 46,410,000 |
| 基盤研究(B) | 20 | 95,420,000 |
| 基盤研究(C) | 69 | 95,940,000 |
| 研究活動スタート支援 | 4 | 5,538,000 |
| 挑戦的萌芽研究 | 9 | 15,990,000 |
| 特別研究員奨励費 | 18 | 13,654,000 |
| 研究成果公開促進費「学術図書」 | 5 | 6,700,000 |
| 研究成果公開促進費「データベース」 | 1 | 3,400,000 |
| 計 | 167 | 334,532,000 |

土地建物

●建物面積

(単位：㎡)

| 名 称 | 構造・階 | 建面積 | 延面積 |
|-----------------------|--------|---------------|---------------|
| 大学本館 | RC3 | 2,902 | 7,969 |
| 生活科学部本館2 | RC3 | 368 | 1,153 |
| 大学講堂 | RC2 | 979 | 1,514 |
| 学生センター棟 | RC4 | 542 | 2,169 |
| 旧学生部分室 | S1 | 118 | 118 |
| 文教育学部1号館 | SRC8 | 1,024 | 6,490 |
| 共通講義棟1号館 | RC4 | 613 | 2,199 |
| 共通講義棟2号館 | RC2 | 504 | 965 |
| 共通講義棟3号館 | RC5 | 479 | 2,357 |
| 附属図書館 | RC3-1 | 1,837 | 4,422 |
| 保健管理センター | RC2 | 161 | 322 |
| 大学食堂 | RC2 | 625 | 1,028 |
| 課外活動共用施設 | RC3 | 296 | 807 |
| 学生会館 | RC2 | 578 | 884 |
| 文教育学部2号館 | RC3 | 805 | 1,930 |
| 課外活動団体談話室 | RC1-1 | 437 | 576 |
| 大学体育館 | RC2 | 927 | 1,390 |
| 人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟 | RC6 | 450 | 2,835 |
| ラジオアイントップ実験センター | RC2 | 199 | 352 |
| 理学部1号館 | RC6 | 1,359 | 7,974 |
| 理学部2号館 | RC6 | 489 | 2,816 |
| 理学部3号館 | SRC7-2 | 599 | 4,074 |
| 情報基盤センター | RC2 | 247 | 507 |
| 総合研究棟 | SRC8-1 | 640 | 5,626 |
| お茶大アカデミック・プロダクション研究棟 | S3 | 201 | 600 |
| ユビキタスコンピューティング実験住宅 | W1 | 83 | 83 |
| 茶室 | W1 | 101 | 97 |
| その他 | 11棟 | 674 | 678 |
| 大学 計 | | 18,237 | 61,935 |
| 附属幼稚園園舎 | RC1 | 1,313 | 1,294 |
| 附属小学校第1校舎 | RC4 | 1,545 | 4,755 |
| 附属小学校第2校舎 | RC2 | 677 | 975 |
| 附属小学校第3校舎 | RC4 | 277 | 1,043 |
| 附属小学校体育館 | S1 | 588 | 615 |
| 附属中学校第1校舎 | RC3 | 1,156 | 3,276 |
| 附属中学校第2校舎 | RC3 | 394 | 1,047 |
| 附属中学校体育館 | RC2 | 1,056 | 1,493 |
| 附属高等学校校舎 | RC3 | 1,535 | 4,655 |
| 附属高等学校体育館 | S1 | 1,004 | 1,060 |
| いずみナーサリー | RC1 | 175 | 175 |
| その他 | 5棟 | 329 | 329 |
| 附属学校 計 | | 10,049 | 20,717 |
| 大塚宿舎 | RC5 | 519 | 1,887 |
| 桜蔭会館 | RC2 | 293 | 596 |
| 作楽会館 | RC2 | 199 | 411 |
| その他(大塚1) 計 | | 1,011 | 2,894 |
| 小石川寮 | RC4 | 481 | 1,417 |
| お茶大SCC | RC3 | 459 | 1,261 |
| 国際学生宿舎 | RC4 | 2,063 | 4,792 |
| | RC5-1 | 863 | 4,526 |
| その他 | RC1 | 26 | 23 |
| 学生寮 計 | | 3,892 | 12,019 |
| 湾岸生物教育研究センター | RC1 | 300 | 307 |
| 湾岸生物教育研究センター宿泊棟 | RC2 | 170 | 378 |
| その他(教員用宿泊、倉庫) | 3棟 | 94 | 94 |
| 湾岸生物教育研究センター 計 | | 564 | 779 |
| 館山野外教育施設 | W1 | 277 | 277 |
| 館山宿舎 | W1 | 51 | 51 |
| その他(館山) 計 | | 328 | 328 |
| 志賀高原体育運動場管理棟 | RC2 | 177 | 324 |
| 志賀高原体育運動場宿泊棟 | RC3 | 164 | 342 |
| その他(車庫) | B1 | 21 | 21 |
| 志賀高原 計 | | 362 | 687 |
| 合計 | | 34,443 | 99,359 |

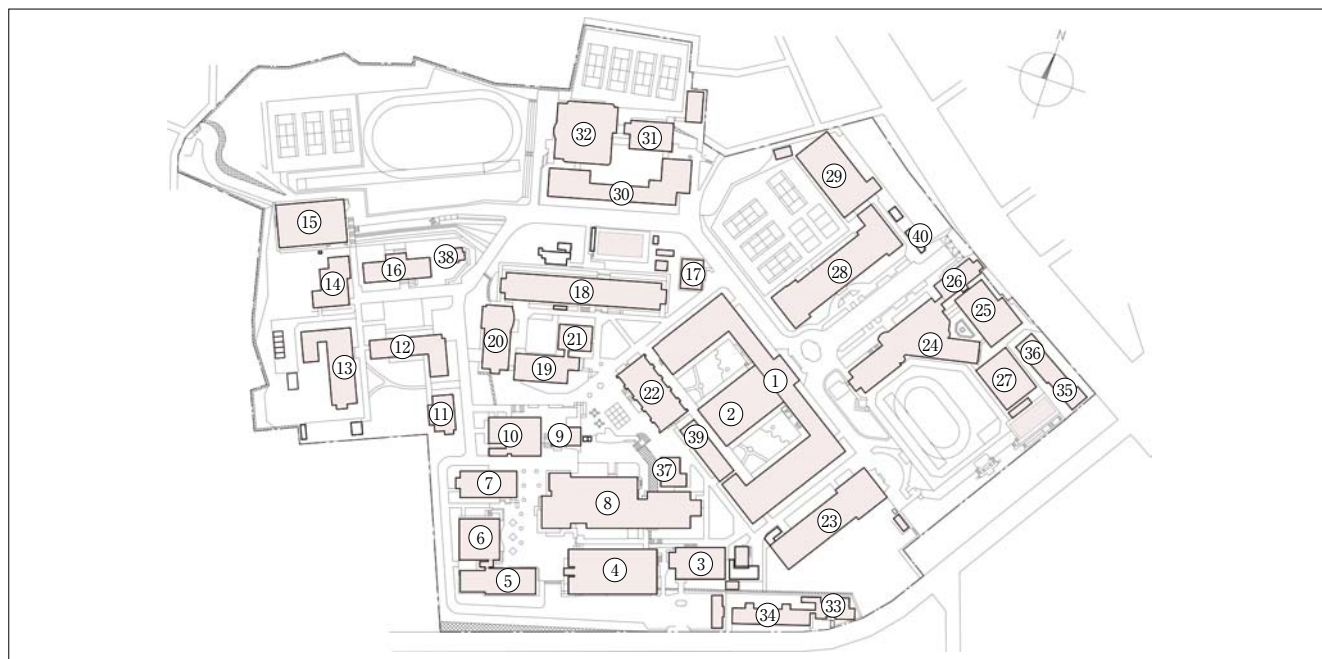
RC：鉄筋コンクリート造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 W：木造 B：ブロック

●土地面積

(単位：㎡)

| | 所有地 | 借地 | 計 |
|--------------|-----------|------------|-----------|
| 大学 | 78,632.9 | 0 | 78,632.9 |
| 附属学校 | 33,076 | 0 | 33,076 |
| 湾岸生物教育研究センター | 4,984 | 0 | 4,984 |
| 館山野外教育施設 | 3,456.06 | 0 | 3,456.06 |
| 志賀高原体育運動場 | 0 | (民有地)1,395 | 1,395 |
| 東村山郊外園 | 3,168.16 | 0 | 3,168.16 |
| 小石川寮・お茶大SCC | 2,553.27 | 0 | 2,553.27 |
| 国際学生宿舎 | 8,028.99 | 0 | 8,028.99 |
| 大塚宿舎 | 1,580.12 | 0 | 1,580.12 |
| 館山宿舎 | 182 | 0 | 182 |
| 計 | 135,661.5 | 1,395 | 137,056.5 |

| キャンパスマップ |



- | | | |
|--------------------------------|---------------------------|------------------------|
| ① 大学本館 本部 生活科学部 歴史資料館 | ⑬ 文教育学部2号館 | ⑳ 附属小学校体育館 |
| ② 大学講堂(徽音堂) | ⑭ 課外活動団体談話室 | ㉑ 附属高等学校校舎 |
| ③ 学生センター棟 | ⑮ 大学体育館 | ㉒ 附属高等学校体育館 |
| ④ 文教育学部1号館 | ⑯ 人間文化創成科学研究科・ 全学共用研究棟 | ㉓ 附属中学校第1校舎 |
| ⑤ 共通講義棟1号館 | ⑰ ラジオアイソトープ実験センター | ㉔ 附属中学校第2校舎 |
| ⑥ 共通講義棟2号館 | ⑱ 理学部1号館 | ㉕ 附属中学校体育館 |
| ⑦ 共通講義棟3号館 | ⑲ 理学部2号館 | ㉖ いずみナーサリー |
| ⑧ 附属図書館 | ⑳ 理学部3号館 | ㉗ 大塚宿舎 |
| ⑨ 保健管理センター | ㉑ 情報基盤センター | ㉘ 作楽会館 |
| ⑩ 大学食堂 | ㉒ 総合研究棟 | ㉙ 桜蔭会館 歴史資料室 |
| ⑪ 課外活動共用施設 | ㉓ 附属幼稚園園舎 | ㉚ お茶大アカデミック・プロダクション研究棟 |
| ⑫ 学生会館 | ㉔ 附属小学校第1校舎 | ㉛ 茶室 |
| | ㉕ 附属小学校第2校舎 | ㉜ 生活科学部本館2 |
| | ㉖ 附属小学校第3校舎 | ㉝ お茶大インフォメーション・プラザ |

附属図書館

蔵書冊数

(平成24年5月1日現在)



| 図書の冊数 | | 雑誌の種類 | |
|-------|----------------|-------|---------------|
| 和書 | 448,460 | 和書 | 7,443 |
| 洋書 | 209,399 | 洋書 | 2,617 |
| 計 | 657,859 | 計 | 10,060 |

年間受入冊数

(平成23年度)

| | 購入 | 寄贈 | 製本等 | 合計 |
|----|--------------|--------------|------------|---------------|
| 和書 | 8,160 | 7,759 | 213 | 16,132 |
| 洋書 | 1,729 | 667 | 179 | 2,575 |
| 計 | 9,889 | 8,426 | 392 | 18,707 |

記念文庫

| 文庫名 | 冊数 | 収書年度 | 摘要 |
|-------------|-------|--------|--------------------------|
| 紀元二千六百年記念文庫 | 765 | 昭和51年度 | 紀元二千六百年を記念した国体関係図書 |
| 宮嶋文庫 | 149 | 昭和30年度 | 宮嶋鋭夫氏旧蔵書(哲学・美学・文学) |
| 矢崎文庫 | 2,700 | 昭和32年度 | 矢崎美盛氏旧蔵書(哲学・美学・美術史) |
| 倉橋文庫 | 1,214 | 昭和35年度 | 幼児教育全体に関連する図書 |
| ガーリティ文庫 | 471 | 昭和37年度 | M.R.Guerity夫人(米国)からの寄贈図書 |
| 服部文庫 | 282 | 昭和43年度 | 勝部真長元教授からの寄贈図書 |
| 栗田文庫 | 1,967 | 昭和60年度 | 世界の絵本 |

利用状況

(平成23年度)

| 開館日数 | 入館者数 | 館外貸出冊数 |
|------|----------|---------|
| 264日 | 261,504人 | 37,138冊 |

附属学校

(平成24年5月1日現在)

| | 総定員 | 学年等別児童・生徒等数 | | | | | | 計 |
|-----------------------|-------------|-------------|-------------------|-------------------|------------|------------|-------------|-------------|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | |
| 附属幼稚園 二年保育 三年保育 | □ 170 | (3歳児) 40 | (4歳児) 18 39 | (5歳児) 30 41 | | | | □ 168 |
| 附属小学校 | 750 (45) | 105 | 119 | 115 | 121 (2) | 123 (4) | 129 (10) | 712 (16) |
| 附属中学校 | 403 (45) | 126 (12) | 128 (8) | 127 (15) | | | | 381 (35) |
| 附属高等学校 | 360 | 122 | 122 | 117 | | | | 361 |
| いずみナーサリー | 18 | (0歳児) 1 | (1歳児) 13 | (2歳児) 4 | | | | 18 |

※()内の数字は帰国子女の人数を内数で示す。

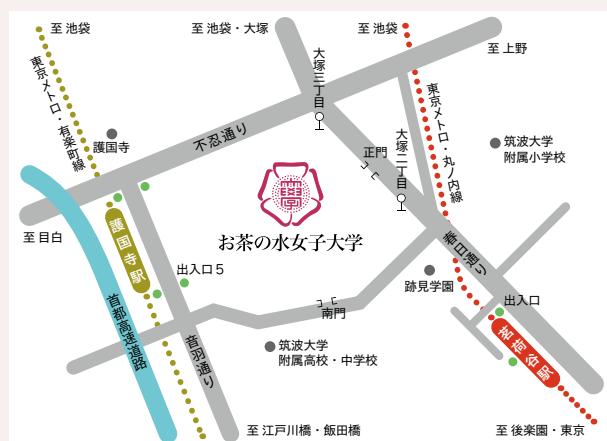
大学沿革 (抜粋)

| | | |
|--------------|--------|---|
| 明治 7年 (1874) | 3月13日 | 東京府下に女子師範学校を設立することを布達 |
| 明治 8年 (1875) | 11月29日 | 東京女子師範学校開校式を挙 開校の場所は、江戸時代から「御茶の水」と呼ばれていた現在の文京区湯島一丁目 |
| 明治 9年 (1876) | 11月16日 | 附属幼稚園を開園(幼稚園の始め) |
| 明治10年 (1877) | 2月1日 | 附属小学校を設置(翌年9月授業開始) |
| 明治15年 (1882) | 7月10日 | 附属高等女学校を設置(9月授業開始、高等女学校の始め) |
| 明治18年 (1885) | 8月26日 | 東京女子師範学校は東京師範学校に合併され、東京師範学校女子部となる |
| 明治19年 (1886) | 4月29日 | 師範学校令の施行により、東京師範学校は高等師範学校となり、本校はその女子部となる |
| 明治23年 (1890) | 3月24日 | 高等師範学校から女子部を分離し、女子高等師範学校を設立 |
| 明治39年 (1906) | 4月2日 | 第六臨時教員養成所を併設 |
| 明治41年 (1908) | 3月31日 | 奈良女子高等師範学校の設置に伴い、東京女子高等師範学校と改称 |
| 大正12年 (1923) | 9月1日 | 関東大震災のため、校舎焼失 |
| 大正14年 (1925) | 11月29日 | 開校五十年記念式を挙 |
| 昭和7年 (1932) | 12月28日 | 現在地の新校舎に移転 |
| 昭和11年 (1936) | 11月28日 | 新校舎に移転完了、落成式を挙 |
| 昭和16年 (1941) | 3月6日 | 東京女子臨時教員養成所を併設(昭和23年3月廃止) |
| 昭和22年 (1947) | 4月1日 | 附属中学校を設置 |
| 昭和23年 (1948) | 3月31日 | 附属高等女学校を廃止 |
| | 4月1日 | 附属高等学校を設置 |
| 昭和24年 (1949) | 5月31日 | 国立学校設置法の施行により、お茶の水女子大学(文学部[哲学科、史学科、地理学科、文学科、教育学科]・理家政学部[数学科、物理学科、化学科、生物学科、家政学科]の2学部)が新設され、東京女子高等師範学校は同大学に包括 |
| | 11月5日 | 東京女子高等師範学校創立七十五周年・お茶の水女子大学開学記念式を挙 |
| 昭和25年 (1950) | 3月31日 | 文教育学部[哲学科、史学科、地理学科、文学科、教育学科]・理学部[数学科、物理学科、化学科、生物学科]・家政学部[児童学科、食物学科、被服学科]の3学部となる |
| | 4月1日 | 幼稚園教員臨時養成課程を設置(昭和45年3月廃止) |
| 昭和27年 (1952) | 3月31日 | 東京女子高等師範学校が廃止される |
| | 4月1日 | 附属高等学校・中学校・小学校・幼稚園は、お茶の水女子大学文教育学部附属となる |
| 昭和29年 (1954) | 4月1日 | 家政学部に家政学専攻科を設置 家政学部に産業教育教員養成課程(昭和38年に家庭科教員養成課程と改称)を設置 |
| 昭和30年 (1955) | 4月1日 | 文教育学部に文教育学専攻科を設置 |
| 昭和31年 (1956) | 4月1日 | 理学部に理学専攻科を設置 |
| 昭和38年 (1963) | 4月1日 | 大学院家政学研究所(修士課程・3専攻)を設置、家政学専攻科を廃止 |
| 昭和39年 (1964) | 4月1日 | 大学院理学研究所(修士課程・4専攻)を設置、理学専攻科を廃止 |
| 昭和41年 (1966) | 4月1日 | 大学院人文科学研究科(修士課程・7専攻)を設置 |
| 昭和43年 (1968) | 4月1日 | 家政学部に家庭経営学科を設置 |
| 昭和47年 (1972) | 4月1日 | 大学院家政学研究所に家庭経営学専攻を設置 |
| 昭和48年 (1973) | 4月1日 | 大学院人文科学研究科に舞踊教育学専攻を設置、文教育学専攻科を廃止 |
| 昭和50年 (1975) | 11月1日 | 創立百周年記念式を挙 |
| 昭和51年 (1976) | 6月1日 | 大学院人間文化研究科(博士課程・2専攻)を設置 |
| 昭和52年 (1977) | 4月1日 | 文教育学部文学科を国文学科と外国文学科に改組 大学院人間文化研究科に人間環境学専攻を設置 |
| 昭和55年 (1980) | 4月1日 | 附属高等学校・中学校・小学校・幼稚園は、文教育学部附属から大学附属となる |
| 昭和57年 (1982) | 4月1日 | 文教育学部教育学科を教育学科と舞踊教育学科に改組 |
| 平成2年 (1990) | 4月1日 | 理学部に情報科学科を設置 |
| 平成3年 (1991) | 4月1日 | 大学院人文科学研究科に日本語文化専攻を設置 |
| 平成4年 (1992) | 10月1日 | 家政学部を生活科学部(生活環境学科、人間生活学科)に改組 |
| 平成6年 (1994) | 4月1日 | 大学院理学研究所に情報科学専攻を設置 |
| 平成7年 (1995) | 11月8日 | 創立百二十年記念式典を挙 |
| 平成8年 (1996) | 4月1日 | 文教育学部の哲学科、史学科、地理学科、国文学科、外国文学科、教育学科、舞踊教育学科を 人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科に改組 |
| 平成9年 (1997) | 4月1日 | 大学院人文科学・理学・家政学研究所(修士課程)を大学院人間文化研究科(博士前期課程・6専攻)に改組 大学院人間文化研究科(博士後期課程)に複合領域科学専攻を設置 |
| 平成10年 (1998) | 4月1日 | 大学院人間文化研究科(博士後期課程)の人間発達専攻を人間発達科学専攻に、 人間環境学専攻を人間環境科学専攻に改組 |
| 平成11年 (1999) | 4月1日 | 大学院人間文化研究科(博士後期課程)の比較文化学専攻を比較社会文化学専攻及び国際日本学専攻に改組 |
| 平成16年 (2004) | 4月1日 | 国立大学法人法により、国立大学法人お茶の水女子大学を設置 生活科学部の生活環境学科を食物栄養学科、人間・環境科学科に改組 |
| 平成17年 (2005) | 4月1日 | いずみナーサリーを設置 |
| | 11月22日 | 創立百三十周年記念式典を挙 |
| 平成19年 (2007) | 4月1日 | 大学院人間文化研究科を大学院人間文化創成科学研究科に改組 |
| 平成20年 (2008) | 2月22日 | お茶の水女子大学バンコクオフィス(タイ)を開設(平成23年2月17日閉鎖) |
| 平成21年 (2009) | 10月10日 | 新制大学六十周年記念式典を挙 |

所在地

| | 所在地 | 電話番号 |
|--|------------------------------------|------------------------|
| 学長室 総務機構 教育機構 国際・研究機構 学術・情報機構 文教育学部 理学部 生活科学部 大学院人間文化創成科学研究科 附属図書館 全学教育システム改革推進本部 国際本部 センター本部 男女共同参画推進本部 附属学校本部 知的財産本部 お茶大アカデミック・プロダクション | 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 | ダイヤルイン 03-5978-5106 |
| いずみナーサリー | 〒112-0012 東京都文京区大塚2丁目1番22号 | 03-5978-5337 |
| 国際学生宿舎 | 〒173-0022 東京都板橋区仲町2番1号 | 03-3956-6870 |
| 小石川寮・お茶大 SCC | 〒112-0012 東京都文京区大塚1丁目6番6号 | 03-3944-2395 |
| 東村山郊外園 | 〒189-0012 東京都東村山市萩山2丁目3番1号 | — |
| 湾岸生物教育研究センター | 〒294-0301 千葉県館山市香11番地 | 0470-29-0838 |
| 館山野外教育施設 | 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏7149番地 | 0470-29-0979 |
| 志賀高原体育運動場 | 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏7149番地 | 0269-34-2507 |

交通案内



- 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅下車 徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅下車 徒歩8分
- 都営バス「大塚二丁目」停留所より 徒歩1分

平成24年6月発行
 国立大学法人お茶の水女子大学 広報チーム
 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
 TEL: 03-5978-5105 FAX: 03-5978-5545